未来へ続くみち下水道

良好な水環境を保つ

私たちが使った水は下水管を流れ、
下水処理場できれいな水に再生され、
川や海に放流されます。

浸水からまちを守る

大雨でもまちが浸水しないよう、
雨を地下貯留施設に貯めたり、
下水管で川や海に流したりしています。

エネルギーを創り出す

下水を処理して取り除いた汚れから
エネルギーを取り出して
有効利用しています。

下水道はSDGsの達成に貢献します

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

下水道は私たちの快適で安全なくらしや良好な水環境を守るために欠かせない大切なインフラです。

また、下水から資源やエネルギーを取り出して、脱炭素化や循環型社会の構築に貢献しています。

下水道は持続可能な社会の実現に繋がっています。

「21世紀の下水道を考える会」協議会

企画協力：国土交通省

下水道マスコット
スイスイ

下水道事業って、どんなことしているの？

1 汚水処理の普及

明治初期、衛生状況の悪化からコレラが大流行し、その後公衆衛生の向上を図るために都市部の下水道整備が進められました。
2021年度末現在、下水道処理人口普及率は80.6%。汚水処理により、衛生的な都市環境が確保され、私たちの健康で快適なくらしが守られています。
さらに、日本の下水道技術の海外展開も進み、世界の下水道整備にも貢献しています。

神田下水

YouTube
【下水道×SDGs #1】
汚水処理

2 良好な水環境を創る

高度経済成長期には、多くの河川に生活排水がそのまま流れ込み、深刻な水質汚濁が社会問題になりましたが、その後の下水道整備により徐々に水質が改善されました。
管路を通じて処理場に集まった汚水は、微生物に食べさせることで、きれいな水にして、海や川に放流しています。
さらに、富栄養化の原因となる窒素やリンを除去する高度処理や、水産業に配慮した処理水の放流も行われています。

きれいになった隅田川

YouTube
【下水道×SDGs #2】
水質改善

3 浸水からまちを守る

下水道は、まちに降った雨水を速やかに川や海へ流します。
近年は、気候変動による集中豪雨の頻発化などに対応するため、雨水貯留施設の整備や内水ハザードマップの策定など、流域全体でハード・ソフト両面での対策に取り組み、浸水被害からまちを守っています。

YouTube
【下水道×SDGs #3】
強靭化

雨水貯留施設

内水ハザードマップ

4 下水道資源の有効利用

汚水処理により発生する下水汚泥は、バイオガスや石炭代替燃料など、カーボンニュートラルなバイオマス資源として活用されています。また、下水汚泥は、リンなどの成分が豊富に含まれており、肥料として農業利用されています。

YouTube
【下水道×SDGs #4】
脱炭素

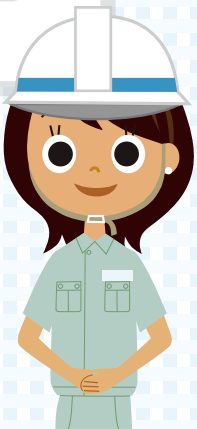
バイオガスを生み出す
消化タンク

下水由来の肥料で
育ったトマト

下水道は、皆さんのくらしや健康を守っています！

持続可能な社会を目指して、これからも「循環のみち」を未来へつないでいきます。

※下水道の各役割に関係の深い SDGs の目標を記載しています。



下水道女子
チカチカ